

# 平成28年度 宮城県多面的機能支払交付金

## 活動組織優良表彰



# 平成28年度 宮城県多面的機能支払交付金活動組織優良表彰 受賞組織

## I. 宮城県知事賞

石母田ふる里保全会【加美町】

## II. 宮城県多面的機能支払推進協議会長賞

八宮地区環境資源保全会【白石市】

## III. 農村環境保全活動賞

広長地域資源保全隊【大崎市】

## IV. 学校教育等との連携賞

朴沢原地域保全会【仙台市】

## V. 地域の結い・絆賞

大館環境保全会【栗原市】

## VI. 都市農村交流推進奨励賞

曾根地域環境を守る会【栗原市】

## VII. 広報奨励賞

西根下高倉地域資源保全隊【角田市】

平成28年度 宮城県多面的機能支払交付金 活動組織優良表彰

# 宮城県知事賞

加美町 石母田ふるる里保全会



# 宮城県知事賞

いしもだふるさとほぜんかい

## 石母田ふる里保全会【加美町】



【心和む花街道】

本地域は、加美町の中心より西に約10キロに展開する農地で、水稻と畜産を主産業とする農村地帯である。地域資源である水田は、県内でも早く昭和44年から昭和48年に行われた県営圃場整備事業によって、30aに区画された圃場となっている。

### 【組織概要】 広域活動組織

- ・取組開始 平成19年度
- ・取組面積 245.3ha  
(田 245.3ha)
- ・取組活動
  - 農地維持支払活動
  - 資源向上支払(共同)活動
  - 資源向上支払(長寿命化)活動

### 取組にあたって

#### 【課題】

過疎化や高齢化が進み農業従事者は年々減少し、新規就農者は極僅か。後継者の39.4%は他産業の従事となっているため、地域住民同志の交流やコミュニケーションが低下、農村環境に対する意識も希薄な状況となってきた。

#### 【保全管理】

農業法人等との連携により大型機械をリースし、担い手の草刈り負担の軽減・集積促進を図っている。

土地改良区との連携により施設の保全管理を計画的に進めている。

小学校PTAと連携し、多面的機能の活動や担い手を育成する体制を構築する。



2 【めだかの学校・ほたるの学校・生き物調査】

### 取組の内容

本事業は農村の環境保全と土地改良区の維持管理賦課金の軽減化にも繋がることであるため、9集落を一つにした広域的な活動組織を立ち上げ積極的に推進を図ってきた。

農地維持の基礎活動や施設の軽微な補修、長寿命化の活動をはじめ、「人も資源」という考えのもと、地域の人材を活用し農村環境保全活動を展開している。

#### ■農村環境保全

「心和む花街道」「ほたるの学校」「めだかの学校」等の景観形成活動、環境保全活動を実施。

#### ■学校教育連携

年間を通じた宮崎小学校との伝統農法による農作業体験、環境学習、農業用施設の歴史の紹介等で地域交流や学校教育連携を図ってきた。交付金対象外の自主活動も積極的に取り組んでいる。

今後は、将来に向けた体制づくりのため「NPO法人化」を旨とし、集落営農法人等との連携や事務効率化を図り、担い手の負担軽減や事務作業の効率化を図りたい。

### 取組の効果

■地域の人材を適材適所で活用して活動を進めることにより、草刈り作業の負担軽減や施設の保全管理が効率的にできた。

■自分たちが参加して作った花街道は地域の癒しとなり、活動は年代を超えた地域のコミュニティの場となっている。

■学校教育と連携して自然農法や生き物の棲息環境等を学ぶことで、環境保全学習の場ができあがった。

■『人・農地プラン「石母田地区」』を独自に策定、町の認定を受けて担い手による将来の耕作放棄・集積対策を講じることができた。



【小学校の農業体験学習】

平成28年度 宮城県多面的機能支払交付金 活動組織優良表彰

# 宮城県多面的機能支払推進協議会長賞

## 白石市 八宮地区環境資源保全会



# 宮城県多面的機能支払推進協議会長賞

やつみやちくかんきょうしげんほぜんかい

## 八宮地区環境資源保全会【白石市】



本地域は、白石市の北西部に位置し、農用地は標高50m～400mの中山間地域に散在している。構成員の協力を得て、草刈り、用水路、地域環境の整備等の保全活動を行ってきているものの、集落内の農業後継者不足や高齢化等により適切な農地等の保安全管理活動が困難になりつつあり、加えて、獣害の発生や畦畔の大きな水田が概して多く、草刈り管理が重労働となっている。

### 【組織概要】 活動組織

- ・取組開始 平成19年度
- ・取組面積 105.4ha  
(田 85.6ha, 畑 19.8ha)
- ・取組活動  
農地維持支払活動  
資源向上支払(共同)活動

### 取組にあたって

#### 【課題】

高年齢化による作業の負担、後継者難により耕作面積の縮小や離農が進み、耕作放棄地が発生する恐れがある。勾配や中山間地など条件の悪いところでの管理作業に手が回らない構成員の農地を今後どのように保安全管理していくのか不安がある。

#### 【保安全管理】

今後、担い手の減少が見込まれることから、既存の「農事組合法人八宮農業生産組合」との連携による農業用施設の保安全管理への協力と、近隣の経営組織や個人経営の担い手等と連携し、地域農業を強化していく。



【景観植物の植栽】

### 取組の内容

■景観形成活動として、農村環境の維持と景観向上のため、遊休農地を有効活用した蓮田化やひまわりを植栽を実施。農道や水路、農地路肩には水仙等花類の植栽を実施。

■きめ細やかな雑草対策として、農道法面や農地法面に作業の省力化に有効な雑草抑制芝ティフブレアの植付けや、防草シートを設置してそこに芝桜を植え付けるなど活動を行っている。

■地域住民との交流活動として、生き物調査などを実施し、将来を担う子ども達に農業についての理解を高めてもらっている。

■子供会に、農地へのごみのポイ捨て禁止を目的とした「環境浄化ポスター」を作成してもらい意識啓発を促している。

■農業祭へのパネル展示など積極的に活動をPRしている。



【活動のパネル掲示】



【環境浄化ポスター】

### 取組の効果

■遊休農地を活用し、蓮やひまわり等景観植物の植栽を行うことにより、農村景観の向上とともに農用地の荒廃を防ぐことができた。

■雑草抑制芝の植付けにより雑草対策の省力化が図られた。

草刈りなどの保安全管理活動や農村環境保全活動は、地域住民全員参加型を指向しており「自分たちの地域を自分たちで守る」という意識の醸成にも配慮していきたい。



【子供会の生き物調査】



平成28年度 宮城県多面的機能支払交付金 活動組織優良表彰

# 農村環境保全活動賞

大崎市 広長地域資源保全隊



# 農村環境保全活動賞

ひろながちいきしげんほぜんたい

## 広長地域資源保全隊【大崎市】



本地域は、大崎市鹿島台の中西部の沢地ではほ場整備完了間近となっている。ほ場整備の地区外になる溜め池・水路の整備に力をいれて取り組んでいる。

良好な自然環境が育まれているため、大崎市の天然記念物となっている絶滅危惧種「シナイモツゴ」が生息し、地域の宝として守り増やそうと取り組んでいる。

### 【組織概要】 活動組織

- ・取組開始 平成19年度
- ・取組面積 35.5ha  
(田 35.5ha)
- ・取組活動  
農地維持支払活動  
資源向上支払(共同)活動  
資源向上支払(長寿命化)活動

### 取組にあたって

#### 【課題】

活動開始10年となり、少子・高齢化の進展で活動参加人員の確保が難しくなってきた。また、活動への参加時間が短時間になる参加者が増加してきている。

ブラックバスの駆除を毎年実施してきたが、地区外の釣り人による再放流で振り出しになる溜め池も見られている。

#### 【保全管理】

高齢化の進む中で、活動の作業班体制の確立が最大の課題となっており、大型草刈機による保全管理の検討も進められている。



【ブラックバスの捕獲】

【シナイモツゴ郷の米  
刈り取り体験】

### 取組の内容

■景観形成活動として、農道等の余裕地への花の植栽により、散策のコースとし親しまれている。

■ため池のブラックバス駆除活動は毎年度実施し、生態系の回復とシナイモツゴの放流のため池として使えるよう保全。

■NPO法人「シナイモツゴ郷の会」と連携し、小学校の里親制度で育てられた稚魚の放流活動を続けている。

■「シナイモツゴの棲むきれいな溜め池の水で栽培された米」に付加価値を高めようとNPO法人が認証制度を作り、平成20年度から「シナイモツゴ郷の米」として生産。

■他の団体と連携した「シナイモツゴ郷の米」の収穫体験や学習会などを実施。

■「集落を知ろう」と題して、平成24年度からの冊子の作成や広報誌、年間の活動をしることができるようカレンダーなどを作成し活動を地域内外にPRしている。

■平成27年度からは「施設の長寿命化」にも取り組み、水路の維持管理負担を軽減している。



### 取組の効果

■ほ場整備事業から外れた溜め池や水路の補修が順次進められ、管理の負担が大幅に軽減された。

■ブラックバスの駆除を毎年度実施した事により、地域の2級河川、広長川のブラックバスが減少して来た。

■シナイモツゴの棲むきれいな溜め池の水で栽培された米「シナイモツゴ郷の米」を、特色あるブランド米として認知を高め、農業所得の向上を図って行く。



【カレンダー作成】



【活動が新聞に】

平成28年度 宮城県多面的機能支払交付金 活動組織優良表彰

# 学校教育等との連携賞

仙台市 朴沢原地域保全会



# 学校教育等との連携賞

ほうざわはらちいきほぜんかい

## 朴沢原地域保全会【仙台市】



本地域は、秀峰泉ヶ岳を望む仙台市北西部の丘陵地に位置し、地区内を国道457号線が貫通するなか、豊かな自然環境・農村風景が維持されている地域である。北端には古来定義如来信仰の参詣者が往来した定義街道もあり、人や薪炭等の交流、更には、現在も「つかい川」に代表される水資源等の自然環境を大切に、酒米や路地原木椎茸を栽培するなどの農を営む気風が息づく地域でもある。

### 【組織概要】 活動組織

- ・取組開始 平成26年度
- ・取組面積 30.3ha  
(田 29.8ha, 畑 0.5ha)
- ・取組活動  
農地維持支払活動  
資源向上支払(共同)活動

### 取組にあたって

#### 【課題】

立ち上げの際、事務処理に不安を感じ、先頭となる役員(特に庶務)の人選に苦慮。隣接する町内会及び非農業者等の参画に取り組んだ。

活動当初は活動も手探り状態で、年末の研修会では活動目標を再周知する必要があった。

#### 【保安全管理】

地域特性に合わせた共同作業、水路・農道の維持管理作業の活動計画を立て、研修会に参加したり、土木工事等に知見を有する会員等の協力を得て、非農家、町内会も共に施設等の点検・補修作業、地域の農用地の維持管理作業を進めている。



【植栽活動】



【地区住民との交流活動】

### 取組の内容

■ 景観形成・生活環境保全活動として、地区住民と植栽活動を実施。

■ 学校教育等との連携による活動として、地域の豊かな自然環境、農村景観保全のためには、農業の魅力の発信が重要と考え、地元福岡小学校や将監中学校、都市部の通町小学校の児童・保護者の農業体験の受入れや自然観察会を実施。

■ 地域住民との交流活動として、遊休農地を活用した大豆、南瓜等栽培収穫等の農業体験を実施。地元農業者が講師となり、味噌加工の実践も行っている。

■ 交流活動としては、都市住民との交流やダウン症親子の会との農業体験を実施している。

地域の中心となる専業農家への農作業の受委託の推進のほか、土地持ち非農家等の活動参画により、担い手農家の農地等維持管理作業の低減を図っている。

集落営農組織や中間管理機構の利用等、将来を見据えた意見交換等の継続、農業後継予定者の共同作業参画の推進を図っている。

### 取組の効果

■ 効率的な農業施設の維持管理及び共同作業の重要性が認識でき、将来の地域農業の在り方等について話し合う機運が生まれた。

■ 区域外農業者、土地持ち非農家との作業を通じてコミュニティの形成・深度化が図れており、昨年9月の関東・東北豪雨被害時も即時の対応を行うことができた。

■ 学・福連携等での児童生徒や他地域住民との交流等により、農や農環境・地域資源の認知度向上及び地場産品の優位性等の周知を行うことができた。

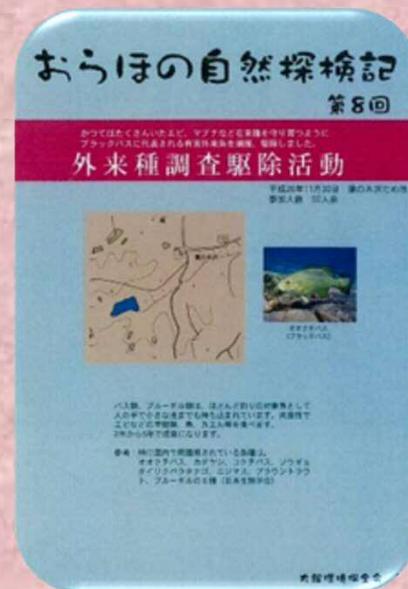


【都市住民との交流】

平成28年度 宮城県多面的機能支払交付金 活動組織優良表彰

# 地域の結い・絆賞

## 栗原市 大館環境保全会



# 地域の結い・絆賞

おおだてかんきょうほぜんかい

## 大館環境保全会【栗原市】



本地域は、古くから農耕定住の跡が確認され、栗駒山を水源とする一迫沿いに水田が広がっており、江戸初期に整備された伊豆野堰により水田開発が飛躍的に進んだことにより、一迫川を本流としながらも昔川等からの豊富な水利を得て水田耕作が定着している。大館地区は栗原市一迫の東部に位置し、国道398号線をはさみ昔川付近より南は中山間地までの広がりを見せている。

### 【組織概要】 活動組織

- ・取組開始 平成19年度
- ・取組面積 96.0ha  
(田 96.0ha)
- ・取組活動  
農地維持支払活動  
資源向上支払(共同)活動

### 取組にあたって

#### 【課題】

農業従事者の高齢化や後継者の不足により、共同活動の参加者減少の歯止めと作業量全体の調整の中で、農地維持の継続が課題となっている。

#### 【保全管理】

農業者個人での農地の維持・管理には限界が見えてきており、共同活動による農用地の維持・管理の重要性が切実に感じる状況である。地域全体としての農業振興・発展のために密度の高いコミュニケーションをベースに農業者・非農業者が共に地域の活動として実践できる人的環境づくりに努めている。



【植栽活動】

【外来種の駆除】

### 取組の内容

密度の高い地域のコミュニケーションを基盤としながら、共同作業及び担い手による営農活動の活性化により未来を切り開く農業地域の構築を目指して活動している。

■農村環境保全活動として、ため池の外來種駆除のほか、共同での植栽による美的景観の構築を実施。

■遊休農地の有効活用として、ソバの栽培やコスモスの植栽を実施。

■栽培したソバのソバ刈り体験やソバ打ち体験など地域交流も行っている。

■地区子供会に参加を呼びかけての生き物調査に取り組んでいる。

■地域住民との学習会等、農業者・非農業者が世代を超えて交流している。

■毎年、「おらほの自然探検記(生き物調査)」と「外來種駆除」の活動について、豊富な写真を掲載し、会員に配布。活動を通して地域を理解する貴重な資料であるとともにパンフレットとしても有効に活用している。



### 取組の効果

■高齢化、専門の農業従事者の減少により農地維持活動の参加者が減少する中でも、地域内での様々な交流活動を重ねてきた結果、後継者としての若手が参加する状況が僅かながら見られるようになってきた。

■農業者の配偶者や家族・児童・生徒が参加することで地域への思い入れ、農業への興味・関心、更には自然愛護・保護の気運が高まり、地域コミュニティ活動の活性化にもつながっている。

■後継者や担い手の不足による営農活動の不安も減少し、担い手による耕作面積の拡大が進んでいる。担い手の営農を間接的に支援しようとする当環境保全会の活動の成果の一つと言える。



【生き物調査】

【ソバ刈り】

平成28年度 宮城県多面的機能支払交付金 活動組織優良表彰

# 都市農村交流推進奨励賞

栗原市 曾根地域環境を守る会



# 都市農村交流推進奨励賞

そねちいきかんきょうをまもるかい

## 曽根地域環境を守る会【栗原市】

本地域は、栗原市の北西部に位置し、水稻を主体とした畜産、施設野菜を取り入れた複合経営と兼業農家である。  
農業従事者の高齢化と担い手不足による生産減少が進んでいる。



### 【組織概要】 活動組織

- ・取組開始 平成19年度
- ・取組面積 95.1ha  
(田 95.1ha)
- ・取組活動  
農地維持支払活動  
資源向上支払(共同)活動

### 取組にあたって

#### 【課題】

この事業は農家を対象としたものだという先入観にとらわれた考えの方が少なからず居たため、農道、水路、地域の景観は、住民の方々皆が携わらなくてはならないという事を啓発しながら進めてきた。

徐々にではあるが考え方に賛同し、参加してもらうようになった。

#### 【保全管理】

水田の圃場整備後、30数年が経過しているので土地改良区と連携を取りながら軽微な修理、例えば、用水路の目地詰めを実施したり、大規模な修理は土地改良区にお願いしている。



【子供会の生き物調査や  
清掃活動の様子】



### 取組の内容

現状の担い手不足は我々自らの積極的な外部への情報発信不足も一因としてあると思っているため、仙台市立荒町小学校5年生に出前授業を行っている。

■都市と農村の交流活動として、仙台市内の小学校に出向き、米ができるまでの作業工程の体験を行っている。土のにおいや泥の感触を直に味わってもらえるように、地元一迫の田んぼの土、一迫の稲の苗を持参し、バケツで稲を育てて観察を行っている。

■春には耕起、代かき、田植、秋には稲刈脱穀、粃すり、精米と農業の大切さ食料のありがたさを教えるとともに、収穫の喜びについての理解を高めてもらっている。

■本物の体験という事で、平成27年度には、実際の一迫の田んぼに来てもらい、稲刈等の体験も実施している。

■農村環境保全活動として、地域住民との清掃活動や植栽活動、子供会との生き物調査などを多岐に展開し、曽根地域の自然や農村環境への理解を深めてもらっている。

### 取組の効果

地域住民との交流や各活動への参加からコミュニケーションが活発となり、地域が活性化した。積極的な発言は活動の推進力になっている。

また、用水路、排水路、農道の草刈、敷砂利等により地域の景観がよくなった。



【出前による農業体験学習の様子】



【平成27年度には都市部の小学生を招いて活動】

平成28年度 宮城県多面的機能支払交付金 活動組織優良表彰

# 広報奨励賞

角田市 西根下高倉地域資源保全隊



# 広報奨励賞

にしねしもたかくらちいきしげんほぜんたい

## 西根下高倉地域資源保全隊【角田市】



本地域は角田市中心部から北西方向に位置し、東西及び南北に高倉川、山田沢川が貫流している。また、北側には白鳥の飛来地である手代木沼が隣接し、地域内の農用地は、平坦な地形を利用した水田が9割以上を占めている。

これらの地域資源の生態系保全に配慮した施設の適正管理を実施している。

### 【組織概要】 活動組織

- ・取組開始 平成19年度
- ・取組面積 77.9ha  
(田77.6ha, 畑 0.3ha)
- ・取組活動  
農地維持支払活動  
資源向上支払(共同)活動

### 取組にあたって

#### 【課題】

兼業農家が多いため、活動人員の確保に苦慮した。

#### 【保全管理】

農道の整地及び除草、排水路の浚渫に加え、外来種(主にセイダカアワダチソウ)の駆除に取り組んでいる。

構成団体に、地域内で設立した農事組合法人があり、地域農業の振興を目指している。

農地の利用集積では、地域内の農地を公益社団法人 角田市農業振興公社を介した賃貸借や農作業受委託を農事組合法人が引き受けることで、担い手農家の面的な集積に配慮している。

### 取組の内容

■農村環境保全活動として、景観形成のため芝桜、カンナの植栽を行い、生態系保全に配慮した施設の適正管理の一貫として魚類等の生き物調査を行っている。

■外来種のセイダカアワダチソウの駆除にも取り組み、生物の生息状況の把握のために生き物調査を行っている。

■地域住民との交流活動として、子供会などのサツマイモ掘り等も開催している。

これらの活動を広報誌の作成のほか、ソーシャル・ネットワーキング・サービス(「facebook」フェイスブック)を活用して情報発信することで、地域内外との社会交流の推進を図っている。

<https://www.facebook.com/nishine.hozentai>

### 取組の効果

地域住民の共同体が形成されたことにより、地域の将来について話し合う機会が増えた結果、地域資源に対する関心が高まり、施設の保全管理を行う人材の確保が図られた。



【カンナの植栽】



【子供会とのサツマイモ掘り】



【ソーシャル・ネットワーキング・サービスによる広報】

平成28年度  
宮城県多面的機能支払交付金

活動組織優良表彰

ご受賞おめでとうございます